

SEEDS Asiaの実績

📍 10か国・
13箇所

💡 52万人

🤝 3,200人

👥 1.7万人



神戸を拠点とした国内事業の他、ミャンマー、バングラデシュ、フィリピンに駐在事務所を持ち、日本を含めたアジアを中心とした**10か国での事業経験**を蓄積



災害リスクの理解促進を目的に、約52万人への**啓発活動**を実施し、防災の基礎知識・技術を普及



災害リスクガバナンス強化を目的に、日本を含めたアジアで**防災の担い手**を約3,200人輩出

備えの強化と「より良い復興(Build Back Better)」に向けて、**災害時の教育継続、生活支援**を約1.7万人に提供

災害からわたしたちが守りたいもの

まち

災害による暮らしと文化を守り、まちの断絶を防ぐために、コミュニティ支援をおこなっています。

命

災害から大切な命・モノを守るために防災啓発活動をおこなっています。

希望

地域と学校の連携による持続可能なまちづくりとその担い手を育成します。

誰もが災害に向き合う時代

だからこそ一緒に防災で未来をつくりませんか？

賛助会員3,000円/年間

会員の皆様には、会員証の送付、会員リストへの掲載の他、ニュースレターの送付、事業地の災害リスク情報共有、防災イベント・研修のご案内があります



認定特定非営利活動法人SEEDS Asia

🌐 <https://www.seedsasia.org/>

🏠 神戸市東灘区岡本1-7-7-307

☎ 078-766-9412

SEEDS Asia

—防災で未来をつくる—



防災で未来をつくる



SEEDS Asiaは災害に負けない持続可能な社会を目指し、
5つの「つながる」アプローチを軸に人づくり・まちづくりに取り組む防災専門NPOです

「つながる」ことが防災？

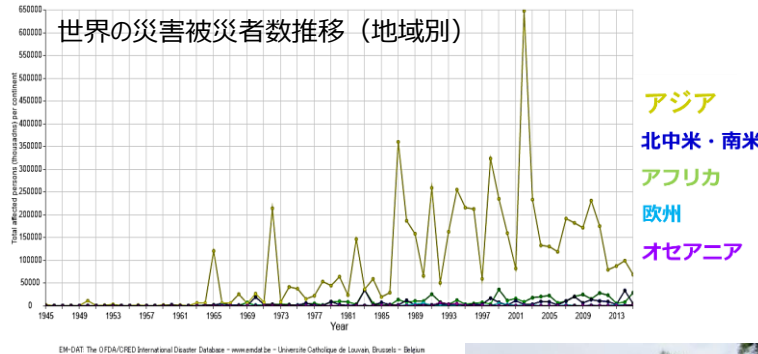
97.5%

阪神・淡路大震災で、倒壊した建物等から助けられた人々の内、97.5%の方々が自分自身と家族、そして近所のつながりによって救われました。国内外の幾多の被災経験から、**つながりが命をつなぎ、まちが再生する上で重要な役割を果たしている**ことが明らかになっています。

70%

世界における被災者の7割が
日本を含めたアジアの人々です

世界の災害被災者数推移（地域別）



アジア
北中米・南米
アフリカ
欧州
オセアニア

急激な都市化や気候変動とみられる影響で、**防災ニーズは日本を含めたアジアで高まる一方**です。



SEEDS Asiaが大切にしている5つの「つながる」アプローチ



政策と行動

防災に関わる国際的な政策を踏まえた事業を草の根レベルで実践し、目標の達成に寄与します



科学と実践

防災に関連する学術との連携による、理論と実践の相乗効果の実現を図ります



神戸と東北 全国/アジア

阪神・淡路大震災の他、東日本大震災の教訓や経験を被災地内外につなぎ防災意識の普及・啓発を実施します



環境とくらし

環境や文化に配慮し、未来のくらしを守る防災の在り方を提案します



過去・ 現在・未来

地域に伝わる防災の知恵を掘り起こし、教訓や経験の伝承を促進します

SEEDS Asiaは日本を含めたアジアにおいて、地域と学校の連携による包括的な防災事業をつうじてSDGsの達成に寄与します



2030年に向けて
世界が合意した
「持続可能な開発目標」です

SEEDS Asiaが事務所を開設したアジアの活動拠点ネットワークは10か国13箇所。防災の専門家チームで構成されています。



住民の命と子どもの教育機会を確保する学校兼シェルターの建設（ミャンマー）



神戸市での本邦研修で学んだ地域情報誌を作成（バングラデシュ）

連携・協力機関(国際/国内機関のみ表示 事業地の連携機関、国内外の個人・学校を除く)

